



楓の森アップデート2



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第21号
令和7年1月27日(月)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

4年生 防災教育

～災害から人々を守る活動～

1月10日(金)、4年生は、社会科「自然災害から人々を守る活動」で、講師をお招きして学習を深めました。講師の先生は、「一般社団法人 7DAYS 山岳災害レスキュー連合会」代表の白木川直己さんと白木川珠実さんです。

白木川さんは、実際に山で遭難された多くの方を救助されています。その現場の様子や救助の方法などを写真や動画等を使って説明されました。また、球磨川の水害、能登半島地震の現場にも行かれて救助活動を行った様子についても伝えていただきました。その後は、体験型の学習になり、リアルな世界を想定して「自分だったらどうする?」と考えながら、三つのミッションをクリアしていく学習になりました。

【ミッション1】山で遭難者がいました。その時の山の様子がこの写真です。その時、この中のどのグッズを持って助けにいきますか。(白木川さんには、たくさんの道具や身の回りの物を用意していただきました)必要な物をグループで話し合っただけ、その理由を白木川さんに報告。

子どもたちは、様々な場面を想定して、グループで何を持って行くかを考え、なぜそれが必要なのかと理由を添えて報告することができました。



【ミッション2】次は、水難事故です。これも写真から判断して、その時に何が必要かを考えることができました。

次に、実際の救助用のドローンを白木川さんがデモンストレーションで飛ばしていただきました。

【ミッション3】子供たちは、小型のドローンを実際に飛ばして、救助者を探すというものです。一人ずつ全員が行いました。10mくらい離れたところに先生が立ち、そこに向けてドローンを飛ばし先生が胸元でキャッチしたら合格! 子どもたちは、巧みにドローンを操縦することができました。

最後に、白木川さんは「困っている人がいたら助けることができる人」になってくださいと話されました。ボランティアで全国の人を助けている白木川さんの話を子どもたちは、真剣なまなざしで聞くことができました。



6年生 アスリートから学ぶ

～できるという気持ちを大切に～

1月20日(月)、スポーツ庁主催のアスリート派遣事業で、講師にバレーボール選手の大山未希さんをお招きし、体育実技指導及び講話をいただきました。大山さんは、東京都出身で小学校、中学校(成徳学園中学)、高校(下北沢成徳)で全国優勝、さらにVリーグ(東レ・アローズ)で三連覇されました(姉はJAPANで活躍された大山加奈さんです)。



まずは、体ほぐしの運動を行いました。その後、実技指導として、レシーブ体験やボールを使ったトレーニング、パスなどの基礎練習などを行いました。

最後は、講話では、「仲間への思いやり」、「団体競技をやった良かったこと」などを話され、特に強調されたのは、「できると思うこと」という言葉でした。自信がない状態だと何をやってもうまくいかなかった経験の話され、子供の時は、自信満々でやっていたから(自己肯定感が高かったから)楽しく上手になれたと…。やはり、自己肯定感を高めることで、「チャレンジ精神を育み、結果的に成功していくんだな」と考えさせられました。

1・2年生

お話会



1月23日(木)、マンドリンアンサンブルロマネスクの高村秀夫さん(元合志市教育長)、水上明子さん、山田昌子さんをお招きして、お話会をしました。マンドリン、マンドラ、ギターを弾きながら、となりのトトロや大きなおっぱいの古時計などを演奏され、子どもたちは楽しく歌うことができました。また、「きつねびらの話」などをしていただき、子どもたちは楽しんで聴いていました。

道徳教育講演会(文科省堀田教科調査官来校)

1月22日(水)、文科省から堀田教科調査官をお招きして道徳教育の講演会を行いました。中島教育長を始め、県内外から参加していただきました。学んだことを今後の授業に生かしていきたいと思います。



楓の森HP

学校行事や子どもたちの学習の様子につきましては毎日ホームページを更新していますので、ご覧ください
<https://es.higo.ed.jp/kaedenomori/>

